



門田 雅彦  
公明党  
(55分)

**ICT(AI・RPA)導入によるスマート自治体に向けた取り組みは**

**問** 本市では、どの分野の業務でAI・RPAを導入するのか。また、その効果をどう見込んでいるか。

**答** AIは大量データの分析や問い合わせ対応業務等への活用



宮本 宏樹  
公明党  
(50分)

**福山北産業団地周辺の道路渋滞への対応は**

**問** ①第2期事業完成後に予想される周辺の渋滞への対応は。②国道182号へアクセスする道路を整備する考えは。③通勤のためのバス路線の延長や、JR福塩線の最寄り駅へのアクセス手段開設の考えは。

適しており、今年度は健診の受診勧奨で活用する。次年度以降も相談・案内業務等にロボットが自動で回答するチャットボットを導入するなど、AIを積極的に活用することで、業務負担の軽減だけでなく、24時間対応による市民サービスの向上を図りたい。

RPAは定型的で膨大な作業量のある業務への導入が適しており今年度から国民健康保険税や介護保険料の口座振替登録等の4業務に導入する。これにより、年間に換算すると約950時間の業務削減効果を見込んでいる。

**答** ①本年1月に周辺の交通量調査をした結果、国道と接続する主要交差点での通勤時間帯の混雑が確認された。現在、第2期事業完成後に予想される交通量を加えて検証を進めており、その結果を踏まえ具体的な対応につなげる。

②将来的な産業団地拡張に合わせ整備する考えである。  
③公共交通の利用促進は、環境負荷の軽減や渋滞解消につながるがバス路線新設には採算性の確保が必要で、今後、進出する企業の動向等を踏まえ検討する。



高木 武志  
日本共産党  
(75分)

**給食費の実費徴収の中止を**

**問** 幼児教育・保育の無償化後も、給食は保育の一環とし、実費徴収は中止するよう国に要望すること。

**答** 給食費について、国は副食費の実費を保育料として負担するよう制度設計しており、無償化後もこれまで同様、保護者に負担を



村井 明美  
日本共産党  
(75分)

**ネオニコチノイド系農薬の使用中止を**

**問** ①学校給食には、有機栽培や減農薬栽培等の安全な野菜を使い、地産地消を進めること。②国にネオニコチノイド系農薬は使用しないよう求めること。

**答** ①新鮮な地場産物を使用し安心・安全な給食の提供に努める。

お願いすることになる。

**市営住宅の改善による活用を**

**問** ①修繕費を増額し、活用できる住宅を増やすこと。②既存の住宅のバリアフリー化とエレベーターの設置を求める。

**答** ①計画的な改修工事や必要な修繕を行っており、引き続き安全で快適な住まいの確保に努める。②バリアフリー化は手すりの設置を進めている。エレベーターの設置は構造上困難と考える。

②国は農薬取締法の改正に伴いネオニコチノイド系を含む全ての農薬の再評価を行う予定と聞いており、この結果を注視する。

**通級指導教室の利用は**

**問** 来年度も小学校1年生から情緒通級指導教室が利用できるように現行制度を継続すること。

**答** 1年生の子どもや保護者が不安や困り感を持つ場合、通級指導教室担当教諭が思いを聴いたり必要に応じて支援を行い、現行制度の継続は考えていない。

※ R P A (Robotic Process Automation) : 定型的なパソコン操作などの事務作業をソフトウェアのロボットで自動化すること。